令和２年３月作成

わかる！ オレンジカフェ補助金の計算のしかた

オレンジカフェの補助金って、結局いくらもらえるの？
いろいろ計算したり、最後にお金を返したりするって聞いたけど？

あら坊

大丈夫！

あらみぃ

オレンジカフェ補助金は先払いだけど、カフェにいくら必要かは、実際にやってみないとわからないわ。
だから最後に、実際に使った金額を計算して、精算をするの。
順番に考えていけば大丈夫よ。

補助金まるわかり！　～申請編～

まず１年間※で使うお金の予定を立てましょう。
予定より使った金額が多くなっても、原則として追加の補助金はもらえないから、予定に入れ忘れがないようにね。

参加人数を予想して、参加費でどのくらい収入があるかも考えるんだね。

※申請する日から、年度内の最後のカフェ開催日まで。年度の途中で申請する場合は期間が短くなります。

補助金を申請するときは、
使う予定のお金の内訳も必要よ。

買いたいものの値段は、
カタログやインターネット
などで調べよう。

すてきな看板
いくら？

チラシ印刷
いくら？

予定 立てたよ

収入（予定）	支出（予定）
参加費 １，８０００円 （１００円×１５人×１２回）	講師へのお礼金　１５，０００円 （５，０００円×３人）
	会場を借りるお金　１４，４００円 （１，２００円×１２回）
	喫茶用品など消耗品　８，５００円
	チラシ印刷代　４，５００円
	切手やはがき　５００円
	食べ物・飲み物　８，０００円
	合計　５０，９００円

できた！　開催回数は月１回だから、年間で１２回の予定だよ。

使うお金は全部で５０，９００円。
これを「総事業費」というんだね。

総事業費

※説明用の例です。目安や平均ではありません。

それじゃあ、経費の種類ごとに
補助金を計算していきましょう。

講師へのお礼金のこと

まずは「講師等謝金」だね。
ポイントは、経費の種類ごとに
最大でもらえる金額が決まって
いることなんだ。

計算スタート！

支出（予定）	計算のしかた	補助金算定額
講師等謝金 １５，０００円	全額 （ただし、最大でも１０，０００円まで）	最大１０，０００円までなので、 １０，０００円

ここからは少しコツがいるわ。
① 使うお金の内容によって、何割まで補助されるか（補助率）が違うので、まずそれぞれがいくらになるか計算するの。

	支出（予定）	補助率		支出（予定）×補助率
会場を借りるお金	会場等使用料又は賃借料 １４，４００円	**１０割**	➡	１４，４００×１＝**１４，４００円**
喫茶用品など消耗品	消耗品費 ８，５００円	**５割**	➡	（８，５００＋４，５００＋５００）×０．５＝**６，７５０円**
チラシ印刷代	印刷製本費 ４，５００円			
切手やはがき	役務費 ５００円			
				合計　２１，１５０円

② 次に、①の合計金額と、「２，０００円×カフェ開催回数※」とを比べるわ。
少ないほうが補助金の算定金額よ。

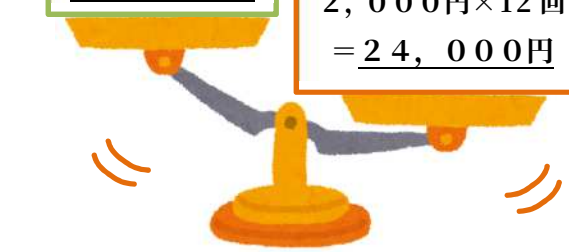
どちらが少ないか比べる

２，０００円×カフェ開催回数※

少

①の計算結果
２１，１５０円

２，０００円×12 回
＝２４，０００円



開催回数（予定）は１２回だから、２，０００円×１２回で２４，０００円。
比べると２１，１５０円のほうが少ないから、２１，１５０円だ。

※開催回数が年間５０回以上の場合は、一律に１００，０００円（２，０００円×５０回）として計算します。

支出（予定）		補助金算定額
講師等謝金	１５，０００円	１０，０００円
会場等使用料又は賃借料	１４，４００円	２１，１５０円
消耗品費	７，５００円	
印刷製本費	４，５００円	
役務費	５００円	
食費	８，０００円	０円（補助対象外）
		合計　３１，１５０円
		補助金額　３１，０００円

食費は補助金の対象にならないので０円よ。

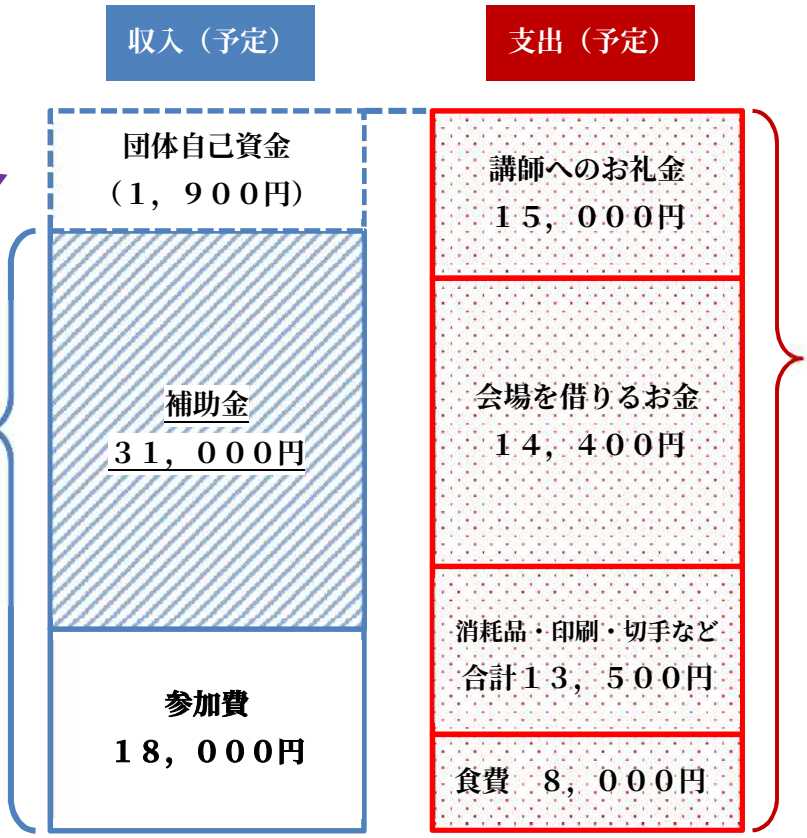
全部足すとこうね。端数を切り捨てたこの金額を申請するの。

食べ物・飲み物

１，０００円未満の端数は切り捨てになるんだね。

補助金を足して、収入と支出を図にすると、こうなるわ。
ポイントは、足りない分を団体が負担して（団体自己資金）、収入合計と支出合計を同じにすることよ。

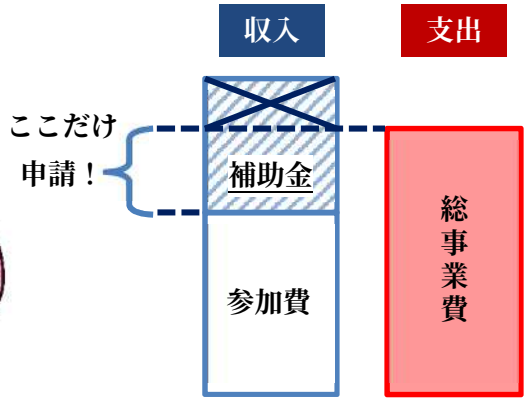
団体のお金



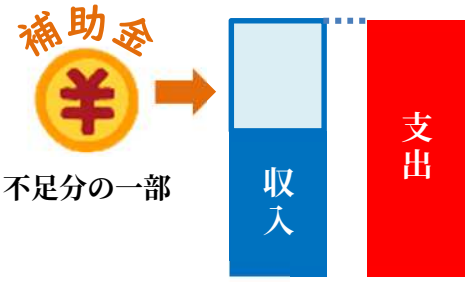
計算完了だね！

でも、計算した補助金と参加費を足すと、
支出合計より多くなってしまうときは
どうなるの？

こういう場合ね。
支出合計より多い分は、使うあてのない不要なお金なので、それを差し引いた金額だけ※ 補助金を申請するわ。



※１，０００円未満の端数は切り捨てて申請するので、端数は団体の負担になります。

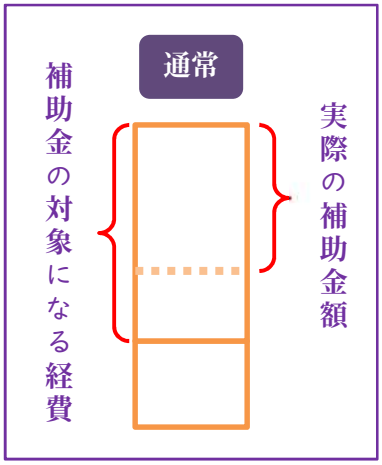


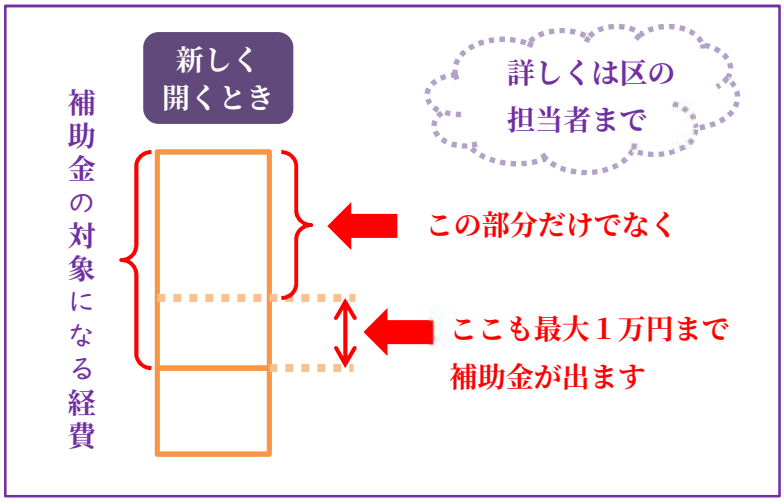
オレンジカフェ補助金は、
参加費などの収入だけでは
足りない分を、できるだけ
補うためにあるんだね。

そうよ。この考え方は、
精算のときにも使うから、
覚えておいてね。

★コラム★

オレンジカフェを新しく開設するときは、補助金が加算されるので、補助金でまかなえる範囲・金額が大きくなります。





補助金をいくら申請
すればいいかわかったよ。

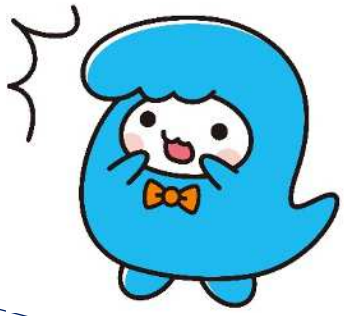
申請書

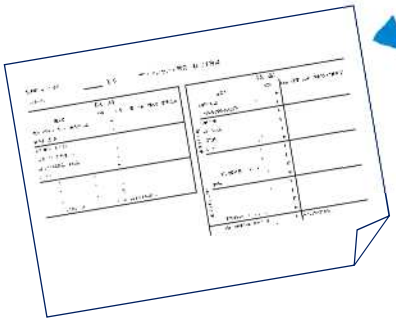
・・・・・・。

なんだか…
見覚えのある数字が…。

あっ

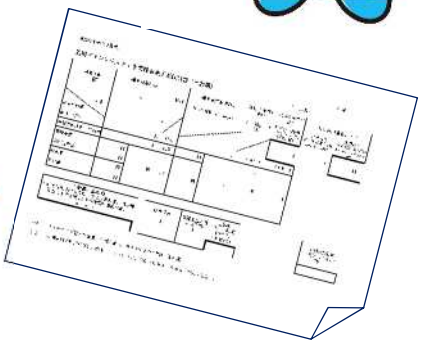
補助金の書類の中にある２枚の横長の紙
を埋めていくと、
さっきの計算と同じことができるんだ！！





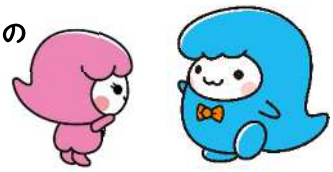
収支予算書
収入と支出の予定を
書く用紙

所要額調書
補助金額の計算を
する用紙



すごいね

そのための
書類だもの



これで補助金を
申請できるね。

もし書類をパソコンで作るなら、
もっと簡単※よ。
区の担当者に聞いてみてね。

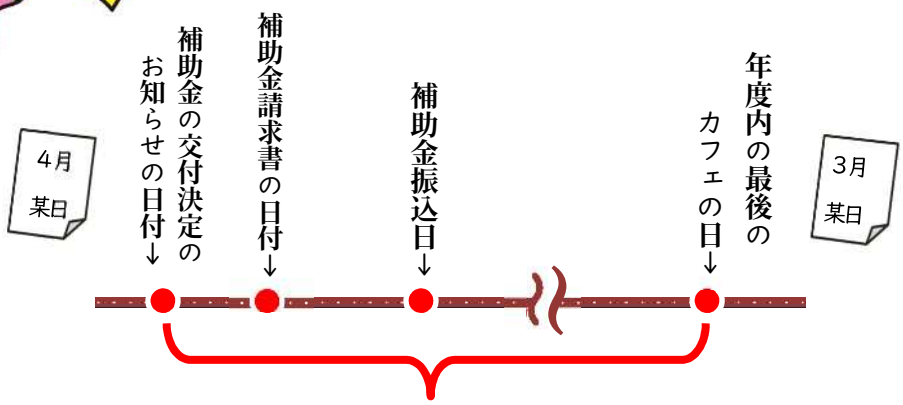
※エクセル（Microsoft Excel）というソフトを使います。収入や支出の予定を入力するだけで、計算は全部自動で行われます。

補助金まるわかり！
～オレンジカフェ実施編～

補助金が振り込まれたよ。
既に立て替えて払っていた分も、ここから精算していいのかな。

OK！

補助金の交付決定のお知らせ（交付決定通知）の日付から、年度内の最後のカフェの日までの期間に使った分なら大丈夫よ。



領収書・レシートの日付がこの期間※なら OK！

←光や熱で字が消えないように注意

もらった補助金は今年度のカフェのためのお金だから、今年度の最後のカフェの日までに使うんだね。

↑あて名は団体名
例：○×キャラバンメイトの会

お金を払ったときは必ずレシートか領収書をもらって、大切に保管してね。
領収書をもらう場合は、あて名は「団体名」よ。

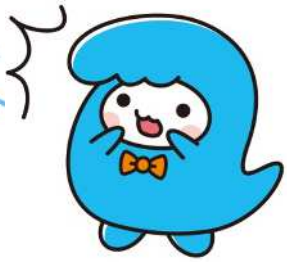
※講師へのお礼金など、カフェ開催後に支払うのが一般的なものについては、領収書の日付が３月３１日までなら、補助金の対象になります。

お金関係以外にも こんなことが必要です

各回の参加人数や、カフェでやったことを毎回記録するわ。

忘れないように！

○月×日
参加人数１４名　メイト２名
認知症症状についてのミニ講座…



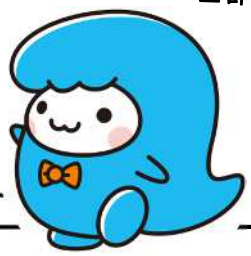
やむをえずオレンジカフェを中止する場合は、区の補助金担当の人に連絡するよ。

簡単な書類を区に提出します。詳しくは区の担当者まで。

補助金まるわかり！　～精算編～

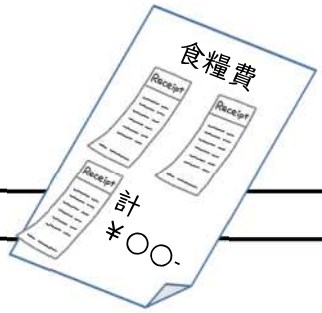
今年度の最後のカフェが終わったよ。

支払も
全部すんだよ



一年間の収支が決まったわね。
これで補助金を計算しなおして、精算をするのよ。
また順番にやっていきましょう。

レシートや領収書を種類ごとに分けるよ。
補助金の対象外の食糧費なども忘れずにね。



領収書
○○様
お品代として
¥２２０－

内訳
のり　１１０円
筆　　１１０円

・領収書に「お品代」のように書かれている場合は、何を買ったかを書き添えます。

経費の種類ごとにまとめるとこうなったわ。
開催回数は、台風で１回中止したので、１１回ね。

収入（確定）	支出（確定）		
参加費 １９，０００円 （１００円×１９０人）	講師へのお礼金 （５，０００円×３人）	１５，０００円	←講師等謝金
	会場を借りるお金 （１，２００円×１１回）	１３，２００円	←会場等使用料・賃借料
	喫茶用品など消耗品	５，０００円	←消耗品費
	チラシ印刷代	４，５００円	←印刷製本費
	切手やはがき	５００円	←役務費
	食べ物・飲み物	７，０００円	←食糧費
	合計	４４，７００円	

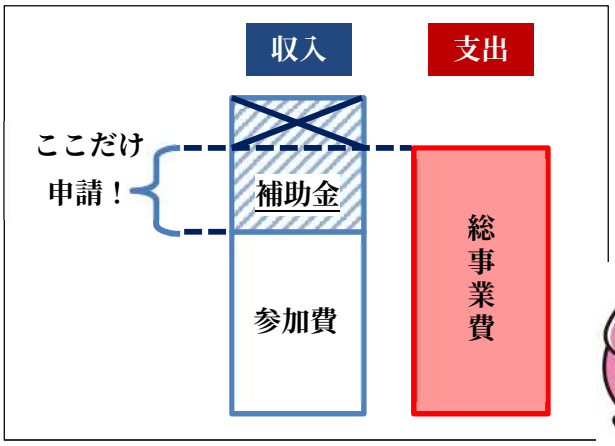
※説明用の例です。目安や平均ではありません。

総事業費

支出（確定）	計算のしかた	補助金
講師等謝金 １５，０００円	全額（ただし、最大でも１０，０００円まで）	最大１０，０００円までなので、 **１０，０００円**
会場等使用料 又は賃借料 １３，２００円	A 「Aの１０割 と Bの５割 を足した金額」 と 「２，０００円×開催回数」 を比べて、少ないほう B	１３，２００×１ ＋（5,０００＋4,５００＋５００）×0.5 ＝１８，２００円 と ２，０００円×１１回＝２２，０００円 を比べて、少ないほうなので、 **１８，２００円**
消耗品費 ５，０００円		
印刷製本費 ４，５００円		
役務費 ５００円		
食費 ７，０００円	補助対象外なので０円	**０円**
		合計　２８，２００円
		補助算定額　２８，０００円（端数切捨て）

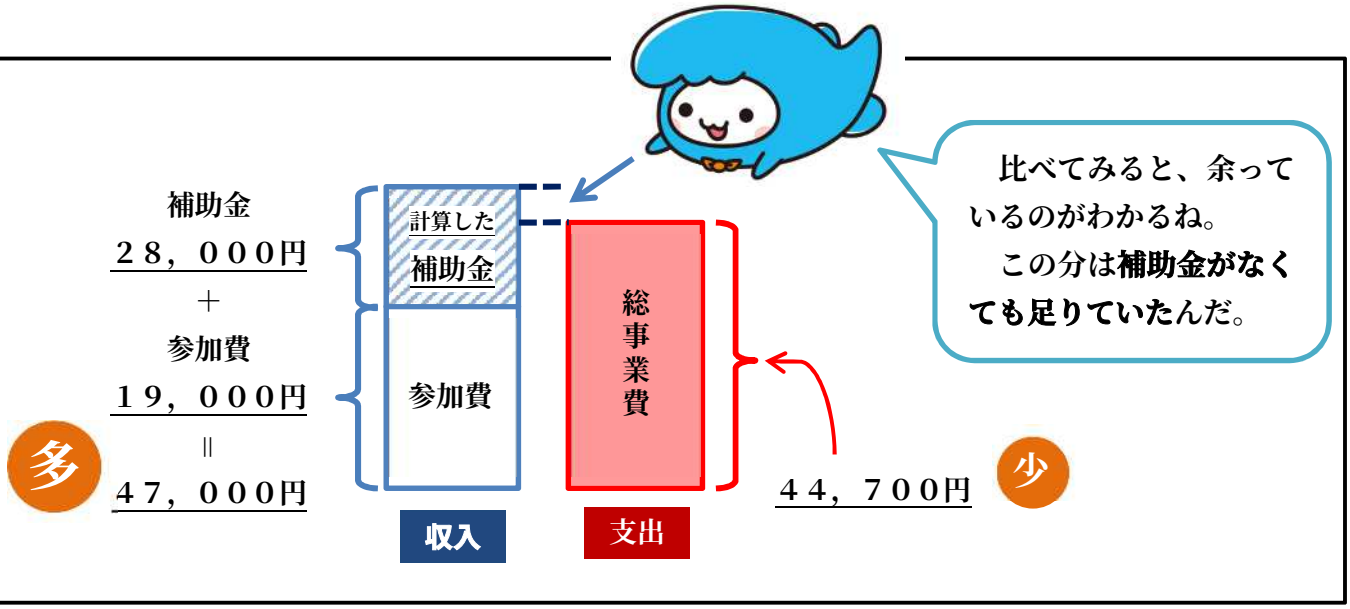
申請のときと同じように補助金を計算したよ。
これが本当の補助金額になるのかな？

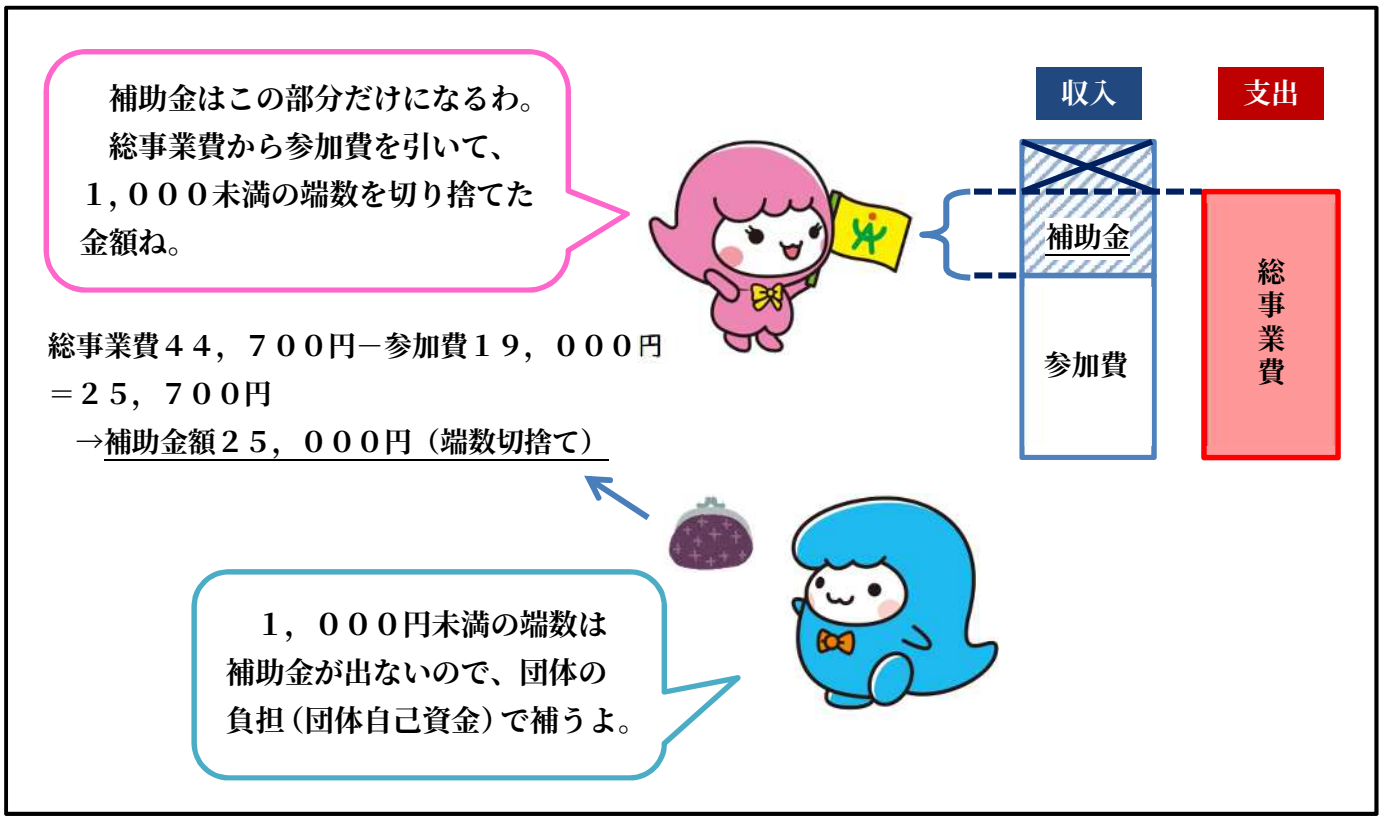
ちょっと待って！

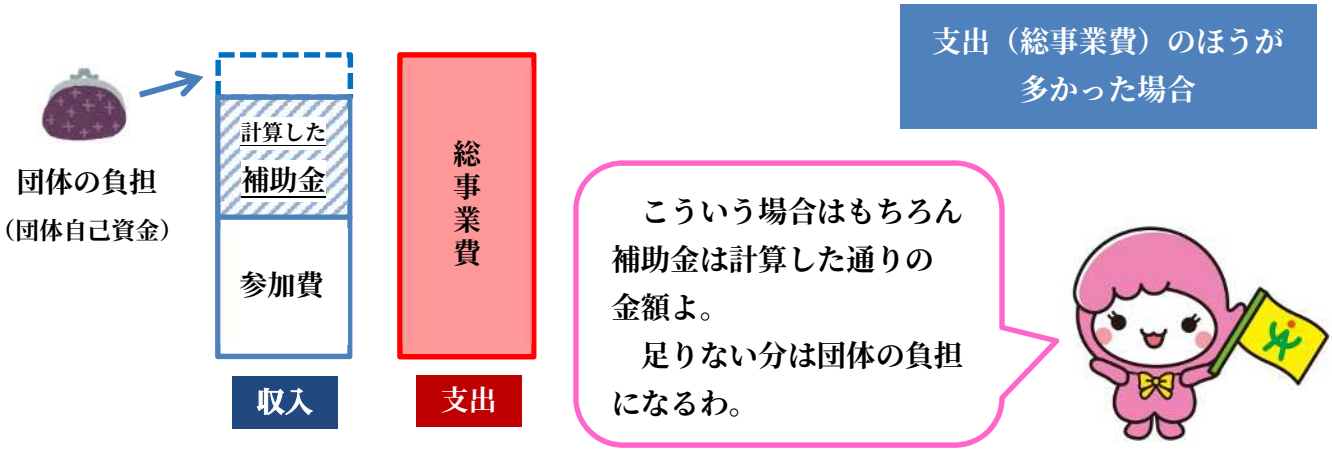


この図を覚えているかしら？
補助金の金額は、総事業費との兼ね合いで、少なくなることがあるわ。

計算した補助金と参加費とを足して、総事業費（支出合計）とどちらが多いか比べる必要があるんだね。


補助金
２８，０００円
＋
参加費
１９，０００円
＝
４７，０００円
多
計算した
補助金
参加費
収入
総事業費
支出
４４，７００円
少
比べてみると、余っているのがわかるね。
この分は補助金がなくても足りていたんだ。


補助金はこの部分だけになるわ。
総事業費から参加費を引いて、１，０００未満の端数を切り捨てた金額ね。
収入
支出
補助金
参加費
総事業費
総事業費４４，７００円－参加費１９，０００円
＝２５，７００円
→補助金額２５，０００円（端数切捨て）
１，０００円未満の端数は補助金が出ないので、団体の負担（団体自己資金）で補うよ。


支出（総事業費）のほうが多かった場合
団体の負担
（団体自己資金）
計算した
補助金
参加費
収入
総事業費
支出
こういう場合はもちろん補助金は計算した通りの金額よ。
足りない分は団体の負担になるわ。

補助金精算額

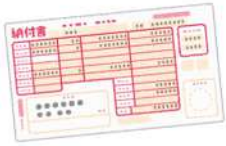
２５，０００円

申請のときにこれより多くもらっていたら、差額を区に返すのね。

補助金がいくらになるかわかったよ！

申請額（もらった金額）	３１，０００円
精算額	２５，０００円
差額	**６，０００円**
	⇒区に返す

精算の書類を区に提出すると差額を区に返すための納付書をもらえます。



できた…

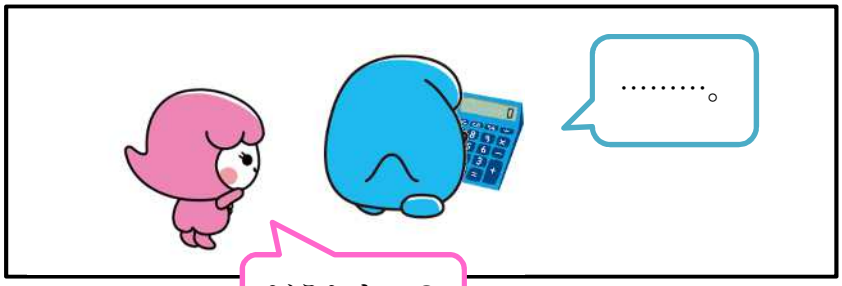
一つ一つ順番に考えていけばいいんだね。

わからないことがあったら区の補助金担当の人に相談できるわ。

書類はパソコンでも作れます。

パソコンで作る場合は、参加費等の収入・支出・開催回数を入力するだけで、計算は全部自動でやってもらえます。

～ おまけとまとめ ～



補助金は原則、追加ではもらえないから、申請のときの金額で精算になるわ……。

申請編で言ったわ…

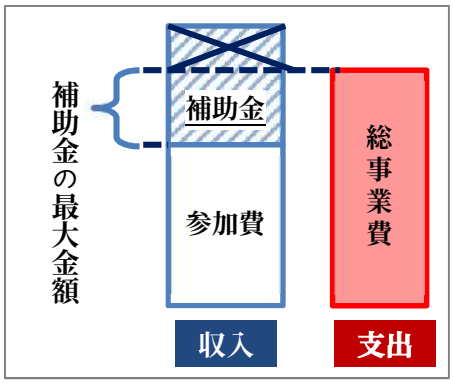
予定より使った金額が多くなっても、原則として**追加の補助金はもらえない**から、予定に入れ忘れがないようにね。

まとめ

補助金は次の３つのうち
もっとも少ない金額になります

① 支出内容から
計算した補助金額

② 総事業費から
参加費収入を引いた金額



③ 申請したときに
もらった補助金額